

二九四七番 一枚
未所有ノ分所在不明ノ旨本年告
傳示置候處今般大坂府下於テ發見候

大藏卿 松方正義
一日
○內閣上條中制村明治十二年二月八
日ヨリ至ル地所書入公証印簿紛失

東京府知事芳川顯正
陸軍一般
陸軍一一般
陸軍一一般

陸軍一一般
陸軍一一般
陸軍一一般

めり量取吸物を進め而して二の膳を持ちて退くべし
酒を先に出す時は吸物と釜とを膳より出すべし
○取肴進め膳
小皿に盛り膳より進めて出て客の前まで膳を上座の方へ斜め置き膳より小皿をとり吸物膳へ居て後膳を持ち進めるべし
○本膳二の膳三の膳撤し様
酒吸物を先に出し進める時の式なり三本膳と跡より出さる膳より先へ撤すべし
○湯進め様
湯つぎの手を右の手より取て左の手を下へ添へて出て之を進むべし
○抹茶進め様
茶碗を右の手にすま左の手を添へて出て其儘進むべし
客を請せんとせば第一掃除に念入るべし飾附の四季に應じて面々相應すべし客納ひて料理かきまはるしきりきりて坐まつくや否や出すも宜しきにかあひす坐まつて先茶菓子を出ししはらく見合せて膳を出す心得肝要あり
給仕を出づるもの内容体懐ひ肝要あり手よて足をいぢるを宜ししかるをばてて手の膝の上へ置き(貴人の前にて之膳の両脇へ手の指先を著くべし)用き事し動かさぬやうすべし又客は顔を打きかめ居るは失禮など仰かま俯ふさとして客の方へ心を配りたるべし
○文部省報告第四號(前號ノ續)

政治及理財學科
東京府平民 高田 早苗
長崎縣士族 天野 爲之
叙任賞勳
○十五年十一月一日分
陸軍少將正五位勳四等 佐久間左馬太
叙勳三等賜旭日中綬章

時事新報
中正ノ判斷
昨年十月 聖詔ノ一タヒ降ルヤ國會開設ノ時期正ニ大ニ定マル、其後急遽ニ就テハ最良ノ吾人臣民ノ論ヲ奉ルベキニ非スニシテ、憲法ヲ奉ルヲ專ラ其準備ニ從事スルコトヲ吾人今日ニ忘ル可カラサル所ナリト申ス可シ天下ノ志士已ニ茲ニ見ル所アツテ昨來以來ハ一入政黨ノ團結ニ熱心ニ東京西馳日モ亦足ラザルガ如ク然リ而シテ今ヤ儼然政黨ノ形ヲ作セタル者已ニ少ナカラス抑モ政黨團結

ナル者ハ果シテ國會準備ノ其中ニ就テ最モ急務ナル者ナラヤ否ヤノ議論ハ暫ク擱キ天下ノ志士ニシテ斯ク熱心ニ遠人心ノ收斂ニ從事スル所以ノ者ハ畢竟 憲法ヲ將來ニ空シクセザラントノ衷情ニ出タル者ニシテ又我國一般人民ヲニ幾分カ政治上ノ思想ヲ養成セシムルノ一手段タルニ外ナラザレバ吾輩ハ志士ガ今日ノ行爲ヲ見テ寧ろ國家ノ爲メニ慶賀セザルヲ得ザルナリ
政黨ノ未タ盛ニ起ラザルノ前日ニ在テハ我國新聞紙ノ如キ又演説ノ如キ其主義尙未タ漠然トシテ一定ノ確論ヲ唱フルナク或ハ政治上ノ事項ニ就テ同新聞社中議論數種ニ分裂シ紙上互ニ相反シテ判斷ヲ廣ク看客ニ求メタルアリ或ハ一法律ニ就テ同席ノ演説者中大ニ其見解ヲ異ニシ各起テ其説ヲ述ベ是非ヲ聽衆ニ訴ヘタルガ如キ奇談モアリシトナレバ政黨團結ノ今日ニ於テハ新聞演説大抵政黨ノ機關トナリ各其黨ニ依テ其主義ヲ固守シ其定見ヲ把持シ或ハ彼ハ改進黨自由黨ノ演説ナリ此レハ保守古風黨ノ新聞紙ナリト唱ヘ荷モ志士ノ事ヲ論シ物ヲ議スル皆ノ黨派ノ思想ヲ其間ニ挾テ以テ始メテ之起非判斷スルニ至レリ蓋シ彼英ヤ米ヤ政治機關ノ常ニ滑然トシテ回轉ノ靜カニ政權ノ授受ヲ黨派交代ノ間ニ決スルヲ得ル所ノ以テ者ハ偏ニ政黨競爭ノ致スル所ニシテ畢竟各政黨ノ何ハ扱テ已レガ主義ヲ以テ最良最善ノ主義ト做シ最モ真理ニ適フテ人心ニ合ハル者ハ我黨ニ如クナリト思ヒ万事万物之ヲ是非ニ之ヲ判斷スルニ常ニ他黨ヲ惡シテ自黨ヲ愛スルノ精神ヲ以テスルニ由ラズンバアラズ去レバ我國今日ノ如ク新聞ニ演説ニ演説ニ天下ノ事物ヲ論議スルニ方テ常ニ黨派ノ思想ヲ其間ニ挾シ或ハ偏愛偏憎ノ精神ヲ以テ文章ヲ草シ舌ヲ鼓スルハ異日大ニ競爭テ政治上ニ見ルノ前途ニシテ而カモ此競争ハ則チ代議政体ノ他ニ卓越シテ善美ナル所以ナレバ吾輩ハ我國新聞演説ノ已ニ如斯ク黨派ノ元素ヲ吸入シタルヲ見聞テ欣喜ニ堪ヘザル者アルナリ

然ルニ吾輩ハ茲ニ又タ一ツノ憂ヲ可キ者アリ何ヤ志士ノ其黨派ヲ思フノ切ナルヨリ不知不識議論常ニ正論ヲ失ヒ判斷常ニ中正ヲ誤マルト是レナリ抑モ男子一タヒ其志ヲ定メ其方向ヲ決ス宜シク確固不動斃レテ而シテ後チ已ムノ精神ヲ以テ飽マザラズ之ヲ主張シ之ヲ唱ヘサル可カラズ志士ノ主義ヲ政治上ニ一定スルヤ亦須カラク熱心一途此主義ト共ニ勉メ、ノ勇無クシテハアム可カラズ彼ノ論々然トシテ風潮ニ誘ハレ利慾ニ眩サレテ西ニ轉リ東ニ移リ曾テ一定ノ見識ヲ有セザルカ如キハ軍ヲ始メヨリ主義ヲ有セザルノ念レルカ如キガ乃チ一人一タヒ其主義ヲ決ス、宜シク其身ヲ委シ其心ヲ凝シテ敢テ忘ラザル可キハ固ヨリ當サニ然カレ可キ所ナリト雖モ面カモ其熱心ノ餘リ天

下ノ事物ヲ判斷スルニ公正ノ明ヲ失シ詳カニ其性質ヲ知悉セズニテ速テ速テ斷斷唯自己利害ノ在ル所ニ就テ是非ノ批評ヲ下ラスガ如キヲアルニ至テハ吾輩ハ特ニ憂慮ニ堪ヘザル者アルナリ試ニ府下政黨ノ機關タル諸新聞ノ記述ヲ所ナ見ヨ時ニ或ハ整々ノ陣、堂々ノ旗、理ニ依リ道ニ訴ヘ異ニ其主義ノ在ル所ヲ示シ其黨派ノ存スル所ヲ明ラカニ互ヒニ其論鋒ヲ闘フシテ策戰ヲ争フノ美觀ヲ呈スル者アリト雖モ多クハ双方互ヒニ事物ノ一方ニ注目スルヤ事、牽強ニ流レ附會ニ失シ敵黨ニ不利ナル者ハ針細ノ事モ之ヲ捧大ニ自黨ノ爲メニ利アル者ハ更ラコト之ヲ飾リテ世ニ公ニスルノ類ニシテ他ヲ取スル時ハ唯「バツドポイント」ニ依ツテ以テ立論シバレバ保庇スル時ハ又「グッドポイント」ニ就テ觀察テ下ラスガ如キ者比々皆ナ然カリ荷モ言ノ詭激ヲ悅ヒ文ノ波瀾ニ涉ラテ受スルノ書生輩ニ非ラサルヨリハ難カ如キ有權ヲ見テ厭地ノ情ヲ起サ、ル者アラシヤ否ヤ往々其所配ノ見識ニ類セル其論説ノ淺慮ナル少シク理心ヲ有スル者ノ常ニ爪彈ヲ通讀スルヲ厭フ者アリ無理ナラス事共ナリ然レニ退ヒテ切カニ事ヲ至レ所以ノ源ヲ尋メレハ畢竟各自其主義ヲ固守シ其黨ヲ愛スルノ熱情ニ發シタル者ニシテ勢ノ遠ニ止テ得ザル所固ヨリ深ク各々足ラザルガ如ク然カレ然カラハ則チ全ク之ヲ度外視シテ可ナラン歟曰ク大ニ然ラスニ之ヲ其理由ヲ述ベ

蓋シ彼英米ノ如キ一般人民ノ已ニ充分ニ政治上ノ思想ニ富ミ新紙ヲ讀ムモ演説ヲ聽クモ能ク其正邪ヲ取捨シ能ク其曲直ヲ識別シテ毫モ誤マラザルノ能力ヲ有セル國柄ニ在テハ最早ヤ他ニ如何ナル偏見論ヲ唱フル者アルモ能ク之ヲ判斷シテ決シテ爲メニ或ハハレ爲メニ欺カレテ其身ヲ誤リ其方向ヲ迷フガ如キ恐レアルナリト雖モ而カモ人民ノ尙ホ未タ政治上ノ智識ニ乏シク淺慮短見唯事物ノ一方ニ拘泥シ深ク其真理ヲ探究セズ風潮ノマコ、其方向針路ヲ轉換スルガ如キ幼稚國ニ於テハ之レカ率先者タル者ハ宜シク之ヲ導クニ公明ノ真理ヲ以テ之ニ教ユルニ正大ノ公道ヲ以テ之ニ益其智識ヲ發達シ思想ヲ養成スルヲ勉メサル可カラズ而シテ之ヲナスニハ勉メテ黨派ニ與ヒテ唯唯然ニ立テ中正ノ道ヲ踏マザル可カラザルナリ今ヤ我國新聞紙ノ如キ大抵已ニ黨派ノ臭氣ヲ帯ヒタルヲ以テ其競争ノ勢ヒ自カラ事物ヲ判斷スルニ公平ノ明ヲ失スルナキ能ハズ乃チ茲ニ於テ乎始メテ中立新聞ノ要ヲ知ル可シ

然ルニ近來國運ニ黨ニ保守ニ與ヒテ偏見偏見ノ弊ヲ去テ公平無私唯理ニ是レ使テ唯道ニ是レ訴ヘテ開進主義ト雖モ其論議ノ真理ニ反シタル者アラバ之ヲ攻撃シ保守黨ト雖モ其行ヒノ道理ニ合スル者アラバ大ニ之ヲ贊成シ

然ルニ近來國運ニ黨ニ保守ニ與ヒテ偏見偏見ノ弊ヲ去テ公平無私唯理ニ是レ使テ唯道ニ是レ訴ヘテ開進主義ト雖モ其論議ノ真理ニ反シタル者アラバ之ヲ攻撃シ保守黨ト雖モ其行ヒノ道理ニ合スル者アラバ大ニ之ヲ贊成シ

然ルニ近來國運ニ黨ニ保守ニ與ヒテ偏見偏見ノ弊ヲ去テ公平無私唯理ニ是レ使テ唯道ニ是レ訴ヘテ開進主義ト雖モ其論議ノ真理ニ反シタル者アラバ之ヲ攻撃シ保守黨ト雖モ其行ヒノ道理ニ合スル者アラバ大ニ之ヲ贊成シ

テ毫モ愛憎ノ沙汰無ク所謂中正ノ路ヲ踏シテ公平ノ判断ヲ事物ノ全体ニ下ラス者アラハ世人譽テ之ヲ無主義無定見ナリトナス嗚呼何ソノ誤レノ甚キヤ...

ドストロント千ノ一ガソベッタハ先ツ以テ我國ニハ不用ナリト申ス可ク乃チ目下世上ノ流行ヲ脱シテ卓然其好ム所ニ從事スル者ノ尙ホ多キハ幸ロ其人ノ爲メ...

雜報

○出京 文部省所轄島取師範學校長岡本御作男氏には御用ニ付昨日出京せられり
○キートウヘル氏 去る十一月三日横濱へ着港されたる英國貴族キートウヘル氏...

も出来得べし義にこれのは支那人ノ印度地方に於て是れ支那人の...
○芝増上寺 兼て本堂戸港居留の彌佛米の三